

カンゴサウルス賞受賞！！



看護職のワーク・ライフ・バランス推進
組織をあげての継続的な取り組みが評価されました！！

「ワークライフバランス」って聞いたことがありますか？日本語だと「仕事と生活の調和」ということになるようですが、協立病院看護部では2014年度から3年間、日本看護協会のワークショップに参加し、ワークライフバランスの改善に取り組んできました。

この度、看護協会から取り組みに際して賞状と記念品の贈呈があり、5月25日東京・青山ダイヤモンドホールでの授賞式に参加してきました。授賞式には全国から145名が参加し、会場のあちらこちらで情報交換をする看護管理者の姿に、病院の大きさや機能にかかわらず、看護師の働き方が見直しされていることを実感しました。

取り組んだ3年間は毎年、病棟で勤務する看護師を中心にアンケート調査を行い課題を分析したり、業務量調査を行い、薬局や検査・放射線科などと業務を分担する方策を考えたり、夜勤シフトの変更を試みたり、自分たちが活用できる福利厚生制度を学習したりと、様々な取り組みと3カ月ごとの状況報告に追われましたが、他の病院との違いも分かり看護マネジメントを考える良い機会となりました。今後も看護師の確保と定着につながるよう長く取り組んでいきたいと思っています。